

# 建具技能士

木の特長を最大限に生かす技法・細工は  
木工分野の最高水準の技能を追求!



技能士さん紹介



(有)丸生木工所

代表取締役 生島直樹さん

- 全国建具組合連合会員
- 技能検定建具1級技能士

建具とは建物の内部と外部を仕切るもので、雨戸や格子戸・玄関戸から大部間を仕切る襖・障子・衝立・欄間などの和風にも、ドア・クローゼットなどの洋風まで幅広い用途があり、すべて人の目にふれるため、その技法・細工は多彩で精巧な仕上げは、木工分野で最高水準といえる技能です。建具の製品は出来上がりよりも、何十年も

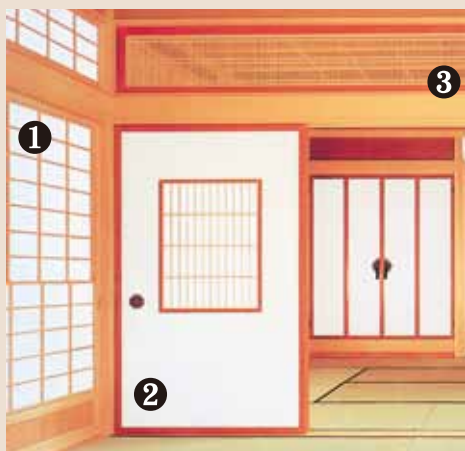


使い込むほど木のぬくもりやツヤが増すため部材選びから厳選されます。また、障子1枚作るのに約20種類の道具を使い、1人の職人によってさまざまな技法が用いられ、後で修理ができるように作られるのも特長です。さらに障子などは保温や断熱の効果に照明効率アップなど、省エネ性が高いエコライフも実現します。

## 製品紹介



▲組子技法を駆使した木製襖



◀衝立 洋風ドア▶



- ① 下半分上げるとガラスが入った摺上障子
- ② 組子を入れた襖
- ③ 組子の欄間

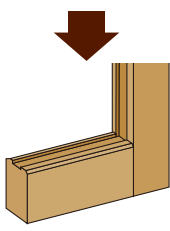
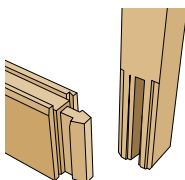
## これぞ職人技!組手・組子技法!

襖や障子などの外枠組みにはさまざまな種類の組手技法があり、綿密に計算された技法で継ぎ合やすホソ・ホソ穴で構成され、補修を前

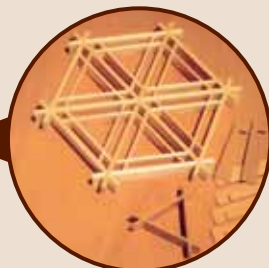


提に取りはずしができるように枠同士を継ぎ組まれる。組子細工は細かな部材を釘や接着剤を一切使わず、手作業で組みあげていく技

### 〈鎌ぼぞ組み〉



法。1/1000mm単位の精度で加工された部材を組み方や模様に合わせて、200通り以上もあるパターンから幾何学的な模様を組み合わせ仕上げていく、建具職人の腕の見せ所の技能です。



## トピックス



第43回・44回  
技能五輪全国大会で  
香川県代表選手として  
(野々井義典さん)  
連続金メダル受賞



### 香川県伝統工芸士認定

伝統的な工芸品の製造において、高度な技能を保持していることが認められて、平成20年2月に香川県伝統工芸士として認定。



香川県職業能力開発協会

<http://www.kagawa-master.jp/>